

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	近代建築史小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠本委員会	
設置期間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・近年益々取り壊しが進められ、その存続が危ぶまれている近代建築に関する保存ならびにその活用方法に関する活動 ・近代建築研究の動向の分析 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 主査：内田青蔵(文化女子大学) 揚村固(鹿児島県立短期大学) 足立裕司(神戸大学) 石田潤一郎(京都工芸繊維大学) 大川三雄(日本大学) 角幸博(北海道大学) 千代章一郎(広島大学) 中川理(京都工芸繊維大学) 中森勉(金沢工業大学) 西澤泰彦(名古屋大学) 初田亨(工学院大学) 藤岡洋保(東京工業大学) 藤谷陽悦(日本大学) 村松伸(東京大学) 山形政昭(大阪芸術大学) 以上 15 名	
設置 WG (WG 名：目的)	アジア近代建築ネットワーク WG WG 主査：村松伸 WG 目的：：アジア圏の近代建築に関する情報収集と研究活動を目的とする	
2005 年度予算	240,000 万円	ホームページ公開の有無：なし。今後検討し、活用したい 委員会 HP アドレス：なし。
項目	自己評価	
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無	
講習会	無	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 近代建築史研究の先端 近代建築史研究の先端 参加者数 40 名	
大会研究集会	無	
対外的意見表明・パブリックコメント等	無	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. シンポジウムは開催できたが、セミナーは出来なかった。 2. 委員会は 2 回しか開催できなかった。 3. 科研費による活動を平行して行うことが出来た。	
委員会活動の問題点・課題	1. 予算内での委員会開催には限界がある。電子会議などを利用した積極的な委員会の開催を来年度実施する。 2. 来年度は、建築見学会などのセミナーを実施する。 3. 「近代建築史研究の先端」のシンポを継続する。	